

共栄化成 株式会社

顧客の要望に応え

共に栄える。射出成形メーカー

- 納期相談
- 企画力自信有
- コスト相談
- オンリーワン技術
- メイドインジャパン
- 量産対応



同社が製造する再生PET成形品

業務内容

2色成形と環境配慮の技術力で受注を拡大

プラスチック製品を製造し42年の歴史を刻む。設備は4台の2色成形機を柱に計17台の射出成形機で構成。製造品は自動車や医療関連、日用品、文具、雑貨製品など150種を超える。現在の代表的品種は平成16年から取り扱いを始めた防虫剤のプラスチック。受注先である大日本除虫菊株式会社の提案で、当初から容器素材に環境配慮材料である再生PET樹脂を採用。共に試行錯誤を繰り返して、現在では年間通じて約800万セットを納入している。2色成形機では主に自動車の音響機器やパネル部品など、年産約500万個の成形品を供給する。

強み 顧客要求に応える設備と作業体制

大阪の樹脂成形メーカーでは稀な200tクラスの2色成形機を保有。2種類の樹脂を同時成形する効率性に加え、大きなワークサイズで優位な受注を展開している。昨年、全ての成形機を油圧式から電動式に移行。ハイサイクル成形を実現し短納期・省エネ化、工場内のクリーン化に貢献している。さらに再生PET成形で培った技術ノウハウおよび保有設備・機器は、環境を重視した製品展開で大きな財産となっている。また



顧客の要求に休日返上で応える

松原五郎社長は「厳しい顧客要求にも休日返上で応えてくれる作業体制が大きな支え」と強調する。

材活用 徹底した人材管理で顧客との信頼を築く

同社ではパートを含め37名の従業員が、24時間365日稼働可能な体制を構築している。そのメンバーに中国からの帰国子女を積極的に採用。年末から夏期の繁忙期には、そのネットワークを生かし必要な労働力を確保している。一方、同社の製造品は多品種。頻繁な工程替えなど作業者への指示や伝達が重要になる。そのため、現場では個々の仕事内容を詳細に表示（貼りだし）する管理手法を展開。日常の3S（整理・整頓・清掃）活動とともに、社員間の意思疎通を図り顧客への信頼獲得に効果を発揮している。

後の展望 機械化進展と、再生PET材料の課題に挑戦

成形機の電動化に続き、平成26年度には中小企業庁の「ものづくり補助金」に、人手で組み立てていた製品を機械で自動化する事業を申請し採択された。今後も製造現場の機械化を進め、安定生産および合理化、コストダウンを図る。また（材料を粉碎・洗浄しただけの）フレーク状の再生PET樹脂による成形加工を目指す。これには原料供給システムに特殊な設備付加や改造が必要なうえ、安定した成形性など課題が残る。松原美奈専務は「困難な仕事に挑戦していくことが当社の信条」と先の展開に自信を覗かせる。

COMPANY PROFILE

共栄化成株式会社

大阪 26

当社の歴史

昭和47年、松原社長が32才の時、樹脂成形メーカー勤務の経験をもとに150tと70tの射出成形機2台を保有し創業。「お得意さんが潤えば会社も発展する」という信念を重視し共に栄える。社名にした。翌年、オイルショックに直面するも持ち前の踏ん張りを発揮。さらに金銭的援助や取引先の紹介など、関連業界や地域の支えもあり、窮地を乗り越えた。その後は堅調な事業展開を支えに、設備や社屋を拡大。平成12年には現在の地に自社社屋を建設し、周辺地域に散在していた生産拠点を集約した。

創業以来、精密射出成形と異材質成形（2色成形）を軸に展開。現在は環境配慮材料などの開発を進め、多様なニーズに応えています。

代表取締役 松原 五郎さん



■主な事業内容

プラスチック射出成形

■主な取引先（納入先）

日用品（衛生薬品・防虫剤）メーカー、自動車部品メーカー、医療機器メーカー、文具メーカー

住所／〒574-0051
大東市新田境町3-5

TEL／072-871-7898

FAX／072-871-7543

創業／昭和47年7月

設立／昭和51年7月

資本金／3,500万円

従業員／37名

<http://www.kyoeikasei.jp>